

【別紙2】

審査の結果の要旨

氏名 吉野 美紀子

本研究は、出生前遺伝カウンセリング（以下、遺伝カウンセリング）への期待と満足感の関係及び満足感の関連要因を明らかにするために、遺伝カウンセリングを受けた15名の女性と2名の男性に対するインタビュー調査を行ったものであり、グラウンデッド・セオリー・アプローチの手順を参考に継続的比較分析を行った結果、下記の知見を得ている。

1. 遺伝カウンセリングへの期待と満足感の関連要因の関係

遺伝カウンセリングへの期待は《情報提供や自身の状況に関する説明》《心理的サポート》《夫婦のコミュニケーションの仲介》に分類され、遺伝カウンセリングの満足感の関連要因は、【遺伝カウンセリングで提供された情報や説明内容】【医療者の態度・対応】【遺伝カウンセリングの体制】【遺伝カウンセリングに対するイメージ】の4つのテーマに分類された。《情報提供や自身の状況に関する説明》という期待に対する応えには【遺伝カウンセリングで提供された情報や説明内容】が関連し、《心理的サポート》や《夫婦のコミュニケーションの仲介》に対する応えとして【医療者の態度・対応】が関連したが、遺伝カウンセリングの満足感にはそれ以外の要因も関連していた。

2. 遺伝カウンセリングで提供された情報や説明内容

遺伝カウンセリングの満足感に肯定的に関連した要因と否定的に関連した要因に分類された。肯定的な関連要因として、【具体的な確率の提示】【確率解釈の比較対象となる情報提示】【前児の先天異常の原因や再発率の提示】【染色体異常の子どもを育てることに対して前向きになれる説明】【子どもに異常があったときのサポート】が抽出され、否定的な関連要因として【事実と異なる情報提示】【質問への回答不能】【最新ではない情報提示】【意図が分からない発言】が抽出された。

3. 医療者の態度・対応

遺伝カウンセリングの満足感に肯定的に関連した医療者の態度・対応は【共感的態度】、両義的な関連要因は【羊水検査受検や人工妊娠中絶に対する非指示的対応】、否定的な関連要因は【協力者の発言に対する否定的対応】が抽出された。

4. 遺伝カウンセリングの体制

協力者はカウンセリングに関わった医療者やカウンセリングの待合室、費用、時間とい

うカウンセリング体制についても言及していた。満足感への肯定的な関連要因として【医師以外の医療者と話す機会】、両義的な関連要因として【他のクライアントを目撃】【面識ある医療者が出生前遺伝カウンセリングを担当】【出生前遺伝カウンセリングに要した時間】、【出生前遺伝カウンセリングの価格】が抽出された。

5. 遺伝カウンセリングに対するイメージ

遺伝カウンセリングの満足感への否定的な関連要因として【カウンセリングイメージとの相違】【何をするとところか分からない】が抽出された。

6. 臨床への示唆

遺伝カウンセリングを受けることに対するクライアントの心理的負担の軽減及び効果的な遺伝カウンセリング実施に向けた準備として、カウンセリング前から適宜クライアントに関わることや、遺伝カウンセリングに対するクライアントの期待内容を把握することの重要性を示した。また、確率解釈に対する理解の支援、染色体異常判明時の医療者の対応や説明内容、共感的態度や非指示的対応、遺伝カウンセリング体制の在り方への示唆を得た。

以上、本論文はクライアントの視点から遺伝カウンセリングの満足感を探求したものであり、満足感の関連要因を明らかにすると共に、クライアントにとって有効な遺伝カウンセリングの在り方を検討する上での一助を得た。本研究は遺伝カウンセリングの在り方を考える上で貴重な資料となる事が期待でき、学位の授与に値するものと考えられる。